【変更のお知らせ】川の水位上昇にご注意ください ~ダムからの放流量を増やして川をリフレッシュ~

平成29年5月2日付でお知らせした「川の水位上昇にご注意ください~ダム からの放流量を増やして川をリフレッシュ~」について、気象状況等を勘案し、 規模を縮小して実施しますのでお知らせします。

時:平成29年5月11日(木) 午前8:30~午後3:00

実施ダム:比奈知ダム

- ・当初、比奈知ダム、青蓮寺ダム、室生ダムの3ダムで実施する予定でした が、比奈知ダムのみの実施となります。室生ダムで予定していた洪水吐きゲ ートの点検も実施いたしません。
- ・宇陀川の水位上昇はありませんが、名張川では、ダムの放流により徐々に水 位が上昇しますので、十分注意してください。また、当日は放流量の増加に 合わせて警報(放送又はサイレン、サイレン疑似音)を鳴らすとともに河川 巡視を行います。



平成29年5月10日

独立行政法人 水資源機構 木津川ダム総合管理所

発表記者クラブ

三重県政記者クラブ、第二県政記者クラブ(三重県) 名張市政記者クラブ 桜井市政記者クラブ

問い合わせ先

独立行政法人水資源機構 木津川ダム総合管理所 管理課長 丹羽(にわ)

住 所:三重県名張市下比奈知2811-2

話:0595(64)8961(代)

川の水位上昇にご注意ください ~ダムからの放流量を増やして川をリフレッシュ~

独立行政法人水資源機構木津川ダム総合管理所の管理する名張川3ダム (青蓮寺ダム、室生ダム、比奈知ダム)では、梅雨や台風に備えて水位を下げて おり、この水位低下の操作を利用して、次のとおりダム下流の河川環境に配慮し た放流(フラッシュ放流)を実施します。

日 時:平成29年5月11日(木) 午前8:30~午後3:00

実施ダム:青蓮寺ダム、室生ダム、比奈知ダム

今回の放流は、ダムから流下させる水を一時的に増やし、石などに付着した泥 や藻類等を剥離させ、河床をリフレッシュすることで、河川に生息する魚などの 生物にとって良好な環境への改善を目指す取り組みです。

また、室生ダムでは、昨年度に引き続きフラッシュ放流に合わせて、洪水吐き ゲートの点検を予定していますので、<u>当日は(普段あまり見ることのできない)</u> 洪水吐きゲートからの放流を実施します。

当日、ダム下流の河川では、ダムの放流により徐々に<u>水位が上昇しますので、</u> 十分注意してください。また、<u>当日は放流量の増加に合わせて警報(放送又はサ</u>イレン、サイレン疑似音)を鳴らすとともに河川巡視を行います。

取材にお越しの場合は事前に問い合わせ先まで、また当日の状況写真を希望される場合も問い合わせ先までご連絡ください。



平成29年5月2日

独立行政法人 水資源機構 木津川ダム総合管理所

発表記者クラブ

三重県政記者クラブ、第二県政記者クラブ(三重県) 名張市政記者クラブ 桜井市政記者クラブ

問い合わせ先

独立行政法人水資源機構 木津川ダム総合管理所 管理課長 丹羽(にわ)

住 所:三重県名張市下比奈知2811-2 電 話:0595(64)8961(代)

青蓮寺ダム・室生ダム・比奈知ダムにおける ダム下流河川環境に配慮した放流について

1. 目的

ダムからの放流による流水の増加によって下流河川内の攪乱を起こすことにより、石などに付着した泥や藻類等を剥離、河床をリフレッシュさせ、藻類の再生を促すことで、河川に生息する魚などの生物にとって良好な環境への改善を目指す目的で、フラッシュ放流という取り組みを行っています。

○ フラッシュ放流の実績

- ・ 比奈知ダム 平成 16 年度~(20回実施)
- ・ 室生ダム 平成 19 年度~(10回実施)
- ・ 青蓮寺ダム 平成20年度~(9回実施)

フラッシュ放流に合わせて、下流河川の流れや水質等について調査し、今後のダム下流河 川環境に配慮したダム管理を行うための基礎資料を収集します。

また、青蓮寺ダム、比奈知ダムにおいては、フラッシュ放流と同時に、ダム上流に堆積した土砂の一部をダム下流に置き、藻類の剥離効果を向上させる取り組みもあわせて行います。

2. フラッシュ放流の概要

1)現況

青蓮寺ダム・室生ダム・比奈知ダムでは、洪水期が始まる6月16日に向けて梅雨や台風に備えて洪水調節の容量を確保するため、洪水貯留準備水位まで、水位を低下させる予定となっております。

今回のフラッシュ放流は、この水位低下操作の一環として行います。

また、室生ダムにおいては、<u>洪水吐きゲート設備の点検をあわせて実施</u>することを計画 しており、当日は洪水放流設備を利用してフラッシュ放流を実施する予定としております。

②実施予定日

日時: 平成29年5月11日(木)8時30分~15時00分

実施ダム: 青蓮寺ダム (最大放流量: 毎秒約30立方メートル)

室生ダム (最大放流量:毎秒約30立方メートル) 比奈知ダム (最大放流量:毎秒約30立方メートル)

- ※ダムからの放流量を徐々に増やしていき、最大放流量は約2時間継続させます。
- ※フラッシュ放流予定日前後の気象条件等によっては、フラッシュ放流を中止する場合があります。

③調査項目

上名張および大屋戸地点において、以下の項目を調査します。

河川流況調査(水位上昇量、濁度、水温、流況撮影)

3. ダム下流河川の水位の上昇予測について

今回のフラッシュ放流によって、ダム下流の名張川では、次のとおり水位が上昇することが予想されますので、注意してください。なお、フラッシュ放流時は河川利用者の安全確保のため、河川巡視を行います。河川利用者の方には、河川から出ていただくことをお願いする場合がありますが、ご理解・ご協力をお願いいたします。

【5月11日(木)の午後1時から3時頃】

・青蓮寺川合流後の鍛治町橋付近(上名張地点) : 最大で約 1m 上昇・青蓮寺川、宇陀川合流後の名張大橋付近(名張地点) : 最大で約 1m 上昇

4. 警報等の実施について

フラッシュ放流当日は、ダムからの放流量を徐々に増加させるため、安全面に配慮し放流 警報 (放送、サイレン又はサイレン疑似音を鳴らします。)を行います。

